

「富富富」の生産拡大に取り組みましょう

県独自品種の「富富富」は、家庭用や中食・外食ともに需要が伸びており、将来的に中生の大宗を占める品種として、生産拡大・需要拡大を進めています。
デビュー以降、栽培マニュアルの更新により、栽培技術の安定化を進めるとともに、密苗栽培等の低コスト栽培も追加し、より栽培に取り組みやすくなりました。
栽培マニュアルに基づく栽培技術の徹底とさらなる生産拡大に取り組みましょう。



▲「富富富」ホームページは
こちらからご覧いただけます

信頼される「安全・安心」な米づくり

消費者に選ばれ、信頼される安全な富山米を生産するため、「とやまGAP」に取り組みましょう。

◆ **安全な米づくり** 農薬・肥料の適正使用、異物の混入防止等

◆ **環境の保全** 廃プラスチックなど廃棄物の適正処理等

住宅地や学校・通学路等の周辺で農薬散布を実施する場合は、十分な時間の余裕を持って事前に幅広く周知する等、一層の配慮をお願いします。



富山県農薬危害防止運動(4月13日～9月14日)

農作業中の熱中症を予防しましょう。

● のどが渇く前に、こまめに水分・塩分を補給しましょう。



● 作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行いましょう。



● 帽子・熱を逃しやすい衣服の着用や保冷剤等により体を冷やしましょう。



安全に農作業を行うために、事故防止対策を徹底しましょう。 秋の農作業安全運動(8月20日～10月20日)

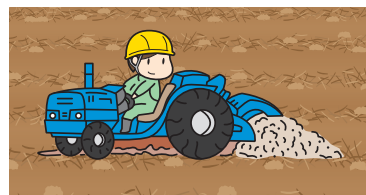
- コンバインやトラクタの転倒・転落事故を防ぐために、農場の危険箇所や、危険な作業を事前に把握して改善に努めましょう。
- 余裕を持った作業計画を立て、複数での作業を心がけましょう。
- コンバインの作業時は、袖口や裾が締まった衣服を着用しましょう。
- ほ場へは低速で路面と直角に出入りし、段差が大きい場合は歩み板を使用しましょう。
- ほ場の端などに寄りすぎないように注意し、後進時には死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いましょう。
- 詰まったワラを取り除くときは、必ずエンジンを切りましょう。



秋の土づくり運動(9月15日～11月15日)・10月1日は「土の日」

肥料高騰対策や環境にやさしい持続可能な農業生産の普及拡大、適正施肥等に向け、土づくりを積極的に進めましょう。

- 土壌改良資材の施用による、ケイ酸・アルカリ分・加里等の補給
- 堆肥や緑肥等有機物の施用による、土壌の肥沃度、保水性・排水性の向上
- 深耕による作物の根域の拡大



高品質で美味しい 富山米を食卓へ 「ほおばる幸せ。富山米」

品質向上のため
土づくりも
しっかりね

適期刈取りで
胴割米を
出さないで

最後まで稲の活力を維持し、
品質が良く美味しい
コメに仕上げよう

美味しい富山米を
食べた～い

今年も、適期の田植えや溝掘り・中干しなどを進めていただきました。
1等米比率90%以上を目指して、この後も技術対策の徹底をお願いします!

今後の技術対策

1
登熟期間の
稲体活力を
維持

2
適切なカメムシ
防除で斑点米
発生防止

3
適期刈取りと
適切な乾燥・調製で
胴割防止

高温等
気象変動に
打ち勝つ

「高品質で美味しい富山米」への総仕上げ

～「稲体の活力維持」で1等米比率90%以上を目指す～

1 こまめな水管理・施肥により登熟期間の稲体活力を維持!

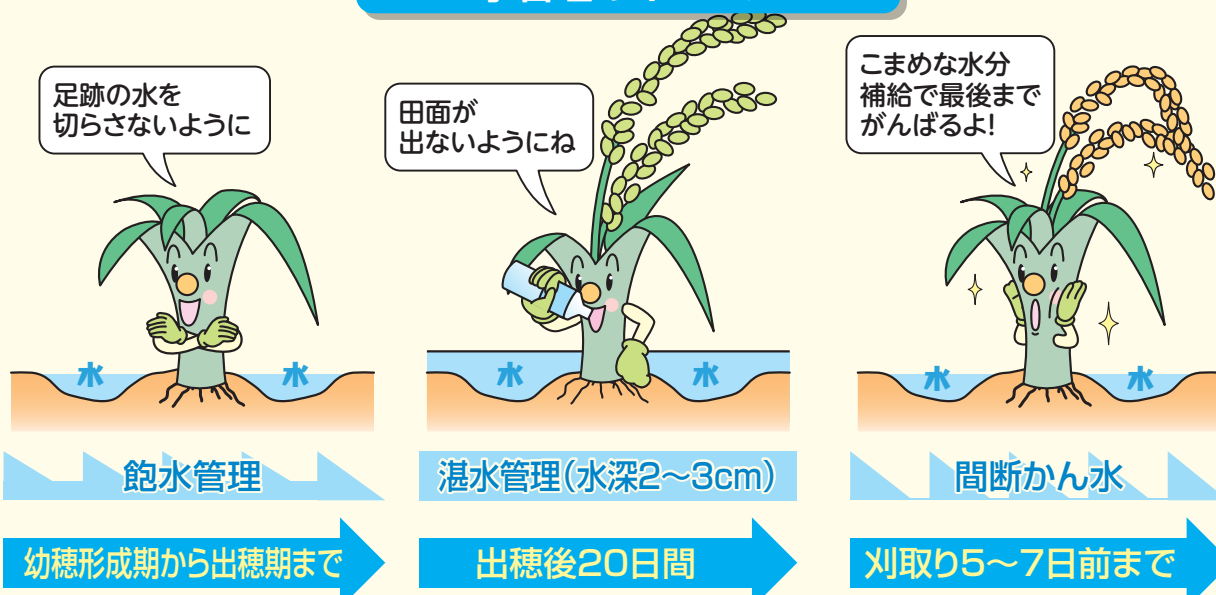
1 水管理

- 幼穂形成期から出穂期までは**飽水管理**
- 出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5～7日前までは**間断かん水**
(フェーンが予想される場合は、事前に入水)



飽水管理のイメージ

水管理のイメージ



2 穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)に誘導

- **出穂7日前に葉色診断**
- 肥効調節型基肥栽培で葉色が薄い(4.0以下(砂壤土は4.2))場合は**出穂の3日前までに追加穂肥を窒素成分で0.7～1.0kg/10a施用**
- 分施栽培では、土壌に応じて2回目の穂肥を確実に施用

登熟期の稲体活力維持が大切だよ



穂揃期の葉色が淡いと、暑さに耐えられず、



背白粒



基白粒

が発生します!

2 適切なカメムシ防除で斑点米発生防止!

- 「てんたかく」など早生品種は穂揃期と傾穂期の2回防除を確実に実施
- 防除間隔は7日を目安に間隔が長ならないように注意
- 「コシヒカリ」、「富富」等は穂揃期防除を確実に実施
- 防除後もカメムシの生息数が多い場合は追加防除
- クモヘリカメムシ等大型カメムシの発生が多い地域では、品種を問わず2回防除を実施



県内で発生が多いカメムシ類

3 適期刈取りと適切な乾燥・調製で胴割れ防止!

1 気象に応じた適期の刈取り

- 高温で収穫が早まっても対応できるよう計画的に収穫、乾燥・調製の準備を
- 降雨が続く場合に備えて手溝を点検



胴割米が

いちばん困るんだよね～

コシヒカリの刈取り開始の目安

登熟期間の気温	籾黄化率	積算温度
平年並み	85～90%	1,000～1,050℃
高温	80%	950℃

2 適切な乾燥・調製

- **毎時乾減率0.8%以下**でゆっくり乾燥
- 収穫時の籾水分に応じた乾燥

収穫時の籾水分	乾燥作業のポイント
25%以上	① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② そのあと、二段乾燥(籾水分17%で一旦停止、半日後再乾燥)
20%未満	機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥

- 仕上げ**玄米水分は14.5～15.0%**に

過乾燥だと食味が低下!

やめて～

- ◆ **1.9mmふるい目の使用**で選別を徹底
- ◆ 施設や設備の清掃・点検を徹底して異品種と異物の混入を防止

